

大名美恵子です

東海村村松 2401-2

電話・FAX 284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

6月議会一般質問から

Q資源物回収の充実を図ってはどうか

A常設型資源ステーション設置を検討する

大名 「最近、資源物の量が減少傾向にあり、ゴミの出し方がルール通りになってきていないのではないか」との声が寄せられた。ゴミの量は少なくなることは望ましいが、状況把握が必要と思う。

村民生活部長 最多の年は、ペットボトルが平成 23 年度に年間約 83t、プラスチック製容器包装が平成 20 年度に年間約 361t。年度ごとの変動はあるがペットボトルの薄肉化や簡易包装化などの影響もあり、減少に転じ、平成 30 年度はペットボトルが約 55t、プラスチック製容器包装が約 174tとなり、ピーク時比でそれぞれ約 66%、約 48%に減少。

大名 可燃ごみの排出状況も同年度で把握する必要があると思う。もう一方の住民の声としては「月 2 回の収集では大きなゴミ袋の置場に苦慮する」や、「自治会に入る資源ごみ報奨金が減っている」などがある。こうした声に応えながら、村民のごみ排出量の傾向を、理由も含めて大枠で把握するために、資源ごみ回収の充実を図ってはどうか。

村民生活部長 近年の可燃ごみ排出状況は、概ね 9,500t前後で推移。平成 29 年度及び 30 年度は、増加傾向の一方、ペットボトル・プラスチック製容器包装の回収量が減少傾向で、資源物が可燃ごみとして出されている可能性がある。また、大型店舗の店頭回収利用の可能性もある。資源物の収集回数は、最大月4回まで地域のご要望により設定。これらに加え、住民の利便性向上を図るため、常設型資源ステーション設置を検討してまいりたい。



上越市のステーション



甲府市のステーション

期待が大きいのでは？
本村への資源物ステーション設置

参議院選挙へのご支援を、大きく広げてください！



参院選事務所開き

8日、水戸市城南に開設した参院選挙比例茨城事務所を兼ねた選挙区大内くみ子事務所開きが行われ、参加してきました。

くらしに希望を! 日本共産党の3つのプラン

1. 8時間働けば普通に暮らせる社会に
2. お金の心配なく学び、子育てできる社会を
3. 暮らしを支える安心の社会保障に

日本共産党は、政治を良くしようという目標で一致し、一緒にやろうという個人や団体、政党と広く力を併せてがんばります。市民と野党が本気の共闘をすれば政治は必ず変えられます。ご支援を大きく広げてください。